

July 2018
National Noh Theatre

国立能楽堂

平成三十年

七月

《月間特集・能のふるさと・越路》

〔定例公演〕7月4日(水)午後1時開演

狂言 金津 茂山千五郎(天藏流)

能 歌占 上野 朝義(観世流)

〔普及公演〕7月7日(土)午後1時開演

解説・能楽あんない
〈山姥〉はどう解釈
されてきたか
宮本 圭造(法政大学能楽研究所教授)

狂言 佐渡狐 野村又三郎(和泉流)

能 山姥 金井 雄資(宝生流)

〔定例公演〕7月18日(水)午後6時30分開演

仕舞 花筐 梅若 紀彰(観世流)

狂言 鏡男 大藏彌太郎(天藏流)

能 木曾 観世鏡之丞(観世流)

〔企画公演〕7月29日(日)午後1時開演
◎中世のおもかげ―「柏崎」
願書

綾子舞 柏崎市綾子舞保存振興会

能 柏崎 佐野 由於(宝生流)

「浪巻地蜀江操持待交 金沢能楽芸術船越」より

予約開始
6月9日(土) 午前10時～
窓口販売開始=6月10日(日)
〈チケット売場 午前10時～午後6時〉
※窓口販売用に別枠でのお取り置きは
ございません。

〔電話〕国立劇場チケットセンター 〈午前10時～午後6時〉
0570-07-9900 / 03-3230-3000 [一部IP電話等]
〔インターネット〕※詳細は下記ホームページをご覧ください。
<http://ticket.ntj.jac.go.jp/> (パソコン)
<http://ticket.ntj.jac.go.jp/m> (スマートフォン)
プレイガイド=チケットぴあ 0570-02-9999 <http://pia.jp/>
e+ (イープラス) <http://eplus.jp/>

入場料金
〔定例・普及公演〕 正面¥4,900・脇正面¥3,200・中正面¥2,700
学生：脇正面¥2,200・中正面¥1,900
〔企画公演〕 正面¥6,300・脇正面¥4,800・中正面¥3,200
学生：脇正面¥3,400・中正面¥2,200
※全公演字幕付です(日本語・英語)。
※障害者の方は2割引です。詳細はチケットセンターまでお問い合わせください。
※出演者などの変更の場合はご了承ください。

定例公演 字幕

7月4日(水) 午後1時開演

金津

狂言【大蔵流】
シテ／親 茂山 千五郎
アド／金津の者 茂山 童司
アト／子 茂山 鳳仁
立兼／金津の者 茂山 宗彦
立兼／金津の者 松本 逸平
立兼／金津の者 丸島 田薫
立兼／金津の者 丸石 やすし

歌占

能【観世流】
シテ／度会某 上野 朝義
ツレ／男 上野 雄三
子方／幸菊丸 長山 芽生
笛 寺井 義明
小鼓 観世 新九郎
大鼓 高野 彰
後見 野村 四郎
見 長山 耕三
田口 亮二 上田 公威
武田 祥照 関根 知孝
武田 文志 岡 久広
野村 昌司 武田 尚浩

終演予定午後3時頃

普及公演 字幕

7月7日(土) 午後1時開演

山姥

狂言【和泉流】
シテ／佐渡のお百姓 野村 又三郎
アド／越後のお百姓 奥津 健太郎
アト／奏者 野口 隆行

山姥

能【宝生流】
前シテ／女 金井 雄資
後シテ／山姥 高橋 憲正
ツレ／百万山姥 殿田 謙吉
ワキ／従者 則久 英志
ワキツレ／供人 松平 豊男
ワキツレ／供人 松田 高義
アイ／所の者 藤田 六郎兵衛
小鼓 成田 達志
大鼓 亀井 広忠
後見 今井 泰行
見 和久 莊太郎
金野 泰大 小倉 健太郎
金森 隆晋 朝倉 俊樹
當山 淳司 金森 秀祥
亀井 雄二 水上 優

終演予定午後4時頃

定例公演 字幕

7月18日(水) 午後6時30分開演

花筐

仕舞【観世流】
シテ 梅若 紀彰
川口 晃平
山中 返晶
角当 直隆
松山 隆之

鏡男

狂言【大蔵流】
シテ／男 大藏 彌太郎
アド／妻 大藏 基誠

木曾

能【観世流】
シテ／覚明 観世 鍊之丞
ツレ／木曾義仲 観世 淳夫
ツレ／池田次郎 世田 裕稔
ツレ／木曾郎等 柴田 貴三
ツレ／木曾郎等 北浪 桂吾
ツレ／木曾郎等 長谷 裕三
ツレ／木曾郎等 安谷 健一
ツレ／木曾郎等 青藤 康
ツレ／木曾郎等 藤木 健次郎
ツレ／木曾郎等 田次郎
ツレ／木曾郎等 倉本 哲也
大鼓 山清 寛二
小鼓 大藤 源次郎
後見 西村 高夫
見 清高 寛二
川口 晃平 永島 充
松山 隆之 馬野 正基
坂山 真太郎 梅若 紀彰
山中 返晶 角当 直隆

終演予定午後8時15分頃

企画公演 字幕

7月29日(日) 午後1時開演

綾子舞

柏崎市綾子舞保存振興会
小原木踊(下野)
海老すくい(下野)
狸々舞(高原田)
小切子踊(高原田)

柏崎

能【宝生流】
シテ／花若の母 佐野 由嘉
子方／花若 水上 和哉
ワキ／小太郎 工藤 昭聡
ワキツレ／善光寺住僧 大日方 寛
小鼓 幸宅 正昭
大鼓 河村 眞之介
後見 朝倉 俊樹
見 佐野 玄宜
金森 隆晋 金森 秀祥
佐野 弘宜 田崎 隆三
藪 克徳 武田 孝史
小倉伸二郎 水上 優

終演予定午後4時頃

《月間特集・能のふるさと・越路》
今月は「能のふるさと・越路」と題し、越前・加賀・能登・越中・越後ゆかりの作品を集めて取り上げます。金津 都へ地蔵を買いにきた越前・金津の里人は、すっぱに騙されてある地蔵を買わされます。その地蔵とは...。父子再会と地獄の曲舞

歌占 渡会某は、加賀・白山の麓で歌占(和歌による占い)により、生き別れた我が子と再会します。渡会が舞う「地獄の曲舞」が見どころの作品です。

佐渡狐 佐渡に狐はいるのか、佐渡と越後の百姓が言い争いになります。佐渡の百姓は奏者(役人)に助けを求めますが、澄み渡る月光に浮かぶ山姥の舞

山姥 霊気籠もる越後・上路の山中に山姥が現れ、曲舞や峰翔る山巡りの有様を見せます。鬼女山姥を、自然界を象徴する存在として描き出す、世阿弥作の曲です。

鏡男 越後・松の山の男は、都からの妻への土産に鏡を買って帰ります。鏡を知らない妻は鏡に映る自分の姿を見て...。戦勝祈願の願書の読み上げ

木曾 俱利伽羅峠の合戦前後、木曾義仲は越中・埴生に陣を構え、腹心・覚明に命じ八幡宮に願書を奉納します。覚明による願書の読み上げが眼目の稀曲です。

《中世のおもかげ―「柏崎」》
企画公演では、越後・柏崎の地に五百年以上受け継がれ、中世の風流踊りや初期歌舞伎のおもかげを現代に伝える「綾子舞」を、同地が舞台の能「柏崎」と共に上演します。

綾子舞 少女の舞う華やかな小歌踊「小原木踊」「小切子踊」、男性が一人で舞う離子舞「狸々舞」、能楽の狂言とは異なる味わいを残す狂言「海老すくい」、いずれも綾子舞の代表的演目を上演します。我が子を想う母の一途な祈り

柏崎 越後・柏崎の女の元に夫の死と、息子が行方知れずとの知らせが届きます。悲しみのあまり彷徨う母は阿弥陀如来への祈りにより信濃・善光寺で息子と再会を果たします。

お願い●出演者などの変更の場合はご了承ください。●駐車場がございませんので車でのご来場はご遠慮ください●上演中は、時計等のアラームや携帯電話の電源はお切りください。●上演中の写真撮影及び録音・録画は固くお断りいたします。



入会受付中! チケットの先行予約・割引・イベント・会報誌などの特典満載!
お問い合わせはあぜくら会事務局 03-3264-0555 (平日10:00~17:00/土日・祝日・年末年始:7/1休)まで詳しくはあぜくら会HP <http://www.ntj.jac.go.jp/member>